

藤友



2013

夏号 No.387



取締役会長 高藤 昌和

「創意工夫」

創意工夫とは、いろいろ考えて新しいアイデアを生み出すこと、「創意」は独創的なものを考え出すこと。「工夫」は良いものを作ろうとあれこれ考えることです。

諸行無常、常に移り変わり行く世の中では、生きてゆくために最も大切なことかもしれません。

特に最近の変化のスピードの速さには、驚くばかりです。アッと気が付くと自分ひとり、環境の変化に取り残されてしまいます。

そのために「創意と工夫」存在価値のある人や企業にならねばなりません。

創意工夫は、安定したゆとりのある時に、発揮されるものであり、現在のように変化にとんだ厳しい現実の時には、難しいと思いつ込んでいるかもしれません。

しかし、先人達の話では「発明は必要の母」といわれるように、追い込まれて必要に迫られ実現することが多いようです。これまでやってきたことを改善しようと考えます。もちろんそれは大切なことです。時には従来とは全く違うやり方で、試みる必要があります。

例えば、札幌の雪祭りのように、今までは全く邪魔になる無用の雪を利用して、200万人もの観光客を集める発想。

休耕田での一口オーナー制度で、農業体験をし収穫したお米を分けてもらい、家族で楽しめる村おこし、過疎地の村で自然を生かした村おこし等々、我々の先入観が邪魔をする場合もあります。

我々の業界も試練や変化の中で、生き残りのための「創意工夫」が求められています。

大企業では出来ない、中小企業だからこそその「創意工夫」。今こそ全員の英知を結集する時だと信じます。



2013/7/1

安全祈願

皆さん、ご安全に
 日夜、安全・安心の職場作りを目指して積極的に安全活動をされている
 皆さん、ご苦労様です。
 「高めよう 一人ひとりの安全意識 みんなの力でゼロ災害」のスローガンのもと今年も第86回目の全国安全週間を迎えました。
 昨年は、全国的にも労働災害による死傷者数が増加する極めて憂慮すべき事態となっています。
 本格的な夏場を迎えて、さらに安全意識を高めて、みんなの力を結集しゼロ災害職場実現を目指しましょう。
 特にこれから多く発生する熱中症には、きめこまかい対応に努め、この安全週間を機に、目標達成に一步一步前進していきましょう。



“安全は、一人ひとりの意識から”

高藤建設株式会社
 代表取締役社長 高藤 元太郎

2013/7/4

本社安全大会

平成25年度の安全大会を7月4日（木）に門司体育館で、今回も社員・協力会の会員企業に加え、会員以外で現在施工中の現場に携わっている協力会社も皆さんも参加し、合計88名で開催しました。
 記念講話として、AIU損害保険株式会社リスクコンサルティング部カスタマーサービス課長佐藤快哉様に「一人は皆の、皆は一人の災害防止」と題して、講話をいただきました。
 最後に社員、協力会会員の代表による安全宣言で、参加者一同、無事故無災害を誓い閉会しました。

平成25年度 安全表彰受賞者
 無災害現場

愛泉会日南病院管理、外来棟増築工事 ほかに9件工事

高藤建設株式会社の部

優良賞 松瀬 英 克
 努力賞 田中 満 弘
 長野 雄 一
 國本 忠 史

高藤建設安全衛生協力会の部

社長賞 (株)常盤空調設備 谷口 幸治 様
 協力会 会長賞 山 十 (株) 塩田 仁 様
 (有) 福山組 福山 敏喜 様
 富士施工(有) 高橋 力 様
 (株)野口商会 渡邊 寛宣 様



記念講話 佐藤快哉 様

2013/6/27

大阪支店安全大会・安全衛生協力会関西支部総会

平成25年6月27日(木)支店会議室において「高めよう 一人ひとりの安全意識 みんなの力でゼロ災害」のスローガンのもと、協力会11社、社員13名の参加で安全大会を開催いたしました。

安全衛生協力会関西支部村井支部長、鳥越支店長の挨拶と続き、安全表彰では労働災害防止に貢献した企業として(株)ゼンキョウ建設様に賞状と金一封が贈られました。

最後に年間努力賞を受賞した荒木社員が支店を代表して安全宣言を行い、古賀建築課長のシュプレヒコールで無災害を誓い閉会しました。

【大阪支店 森田】



2013/6/21

福岡支店安全大会・安全祈願・安全衛生協力会福岡支部総会

平成25年度安全大会を6月21日(金)、櫛田神社での安全祈願の後、「高めよう 一人ひとりの安全意識 みんなの力でゼロ災害」のスローガンのもと支店会議室で協力会28社、社員15名参加で開催致しました。

安全表彰では支店長賞に(株)平組様、支部長賞に(有)仲道工業所の仲道福麿様、他5名の表彰を行いました。

記念講話では福岡市防災危機管理課馬場孝徳様他NP0法人博多あんあんリーダー会の3名の方々に「福岡市の防災減災 覚えておこう防災の対応」というタイトルで災害時の身の守り方等の講話をしていただき改めて、日頃の備えの大切さを実感致しました。

昨年、福岡支店では本工事、CS工事を含め約400件の工事を施工しており、無事故、無災害を達成しております。

安全週間を迎え、改めて協力業者の皆様と力を合わせゼロ災害の継続を決意致しました。

【福岡支店 千々和】



2013/5/16

安全衛生協力会総会

平成25年度「高藤建設安全衛生協力会 第45回定時総会」を下関グランドホテルにて開催しました。会員数52社、出席46社、委任状6社、規約第4章第13条2項過半数の出席をもって成立しました。

議案審議については次の通りです。

- 第1号議案 平成24年度事業報告
- 第2号議案 平成24年度決算報告
監査報告
- 第3号議案 平成25年度始業計画審議
- 第4号議案 平成25年度予算審議

以上4議案満場一致で可決されました。

【建設部 吉浦】



CS工事

リフォーム・リニューアルのことなら ご気軽にご相談ください。

今、建物のことでお困りのことはございませんか？CS事業部では、本社同様、各支店でもお客様のニーズにお応えするために、きめ細やかなサービスを提供致します。ご一報いただければ、熟練したスタッフが対応させていただきます。

本社:093-381-0461

大阪:06-6953-2180

福岡:092-473-0525

改修前



倉庫(プレファブ)増設

ピアノ教室増設

便所改修

ロビー模様替え

改修後



Mac推進委員会

我が社では、以前から情報データは社内にあるサーバーに蓄積され、その蓄積された情報を社内活用していました。

しかし、近年、日々目まぐるしいスピードで、IT、情報分野は進化しています。あふれているさまざまなデータ管理など、我が社が所有する膨大な情報も、セキュリティはもちろん、正しく素早く全社で共有することが重要になってきています。その為に蓄積されたデータをより柔軟に対応できるようデータベースソフトを採用し、一連の作業の合理化、各入力書類を電子データ化して作業の効率化を広範囲に図ることとし、各部門からそれぞれ推進委員を選出し、月1回の委員会をはじめ、週1回勉強会を実施しております。

当面はiPad, iMacを業務に活用することと、各部門が持っているさまざまなデータをデータベースソフト”ファイルメーカー”を使い、基本サーバーを据えて情報の共有を図りスムーズな事務処理を目指しています。

【管理部 栗原】



むすんでひらいて事務所

- ▽ 発注者 株式会社むすんでひらいて 様
- ▽ 設計 株式会社イー・アイ・ディー・プランニング 様
- ▽ 工期 平成25年1月17日～4月30日
- ▽ 規模 鉄骨造平家建 延床面積 365.96㎡
- ▽ 工事場所 福岡県鞍手郡



《完成して一言》

施主様及び設計事務所様の御協力を頂き、大変スムーズに工事を進めることが出来ました。

外観は白色の塗装で統一して、シャープで大変明るい建物が仕上がりました。

内部は入ってすぐ正面にロゴマークを施したガラスのパーティションがあり、天井高を高くすることで大変広々としたオフィスに仕上がっております。

【建設部 佐々木】

東亜非破壊検査研修棟

- ▽ 発注者 東亜非破壊検査株式会社 様
- ▽ 設計 当社
- ▽ 工期 平成24年12月1日～平成25年4月16日
- ▽ 規模 鉄骨造平家建 延床面積 298.58㎡
- ▽ 工事場所 北九州市



《完成して一言》

この工事は、隣接した1期工事の技術開発センターの完了と同時に着工しました。

外観はシルバーでシャープな仕上になっており、工業地域のなかでひと際、目を引く建物に仕上がっています。

今回2期工事の研修棟が完了し、グランドオープンを迎えました。

【建設部 田中】

ミドリ印刷社屋

- ▽ 発注者 株式会社プリンティング福岡 様
- ▽ 設計 当社
- ▽ 工期 平成25年1月15日～4月30日
- ▽ 規模 鉄骨造3階建 延床面積 908.40㎡
- ▽ 工事場所 福岡市



《完成して一言》

この建物は(株)ミドリ印刷様の45周年及び新社長就任の記念事業として建てられ、今後はミドリグループ本部事務所としての役割を担います。

屋上に太陽光パネルを設置し建具には複層ガラスを、外壁塗装には遮熱塗料を使用するなど環境に配慮した建物となっています。

【福岡支店 濱島】

青見内科医院

- ▽ 発注者 医療法人 健明会 様
- ▽ 設計 株式会社 夢企画 様
- ▽ 工期 平成25年1月15日～6月30日
- ▽ 規模 鉄骨造2階建 延床面積 465.06㎡
- ▽ 工事場所 福岡県直方市



《完成して一言》

当工事は医療法人健明会様の2年間に渡る最終工事工区となります。

外観は白系を基調とし、一部アクセントで濃い色彩のタイルを使い落ち着いた雰囲気のある建物になりました。周辺ではひと際人目を引く建物となっております。

また、内部の待合室は吹抜けで大空間が演出されています。

工事期間中は施主様をはじめ患者の皆さんに大変ご迷惑をお掛け致しましたが、お陰様で、無事故無災害で竣工出来ました事をお礼申し上げます。

【福岡支店 竹元】

上村建陶鹿児島営業所

- ▽ 発注者 上村建陶株式会社 様
- ▽ 設計 有限会社プランニングピープル 様
- ▽ 工期 平成25年1月25日～4月25日
- ▽ 規模 鉄骨造2階建 延床面積 500.39㎡
- ▽ 工事場所 鹿児島県鹿児島市



《完成して一言》

この建物は、上村建陶株式会社鹿児島営業所様が事業拡大の為、新たに移転新築されたものです。

広い倉庫には我々もよく利用している建材が豊富にストックできるようになりました。

事務所外観は1,2階のタイルを貼分け、モダンな仕上がりとなりました。

工事期間中は、施主様をはじめ、設計事務所様、協力業者様のご協力により無事、無事故無災害で竣工する事ができ、ありがとうございました。

【福岡支店 原田】

2013/7/1~7

全国安全週間作品結果

標語の部

- 1位** 高めよう 安全意識 事故防止
2位 危険予知 初心の気持ち いつまでも
3位 危ないと 気付いたその時 すぐ改善
佳作 安全は、あせらず、無理せず、油断せず
佳作 何時やるか!? 安全対策、今でしょ!!
佳作 ヒヤリで済んだあの場面 忘れず生かそう 危険予知
佳作 安全職場 各自の意識が その一步

- 井上 宏子
 森田 将之
 高良 しおり
 今井 雅人
 國本 忠史
 野田 剛
 山平 智也

出品総数 51名

ポスターの部



金賞 秋永孝博



銀賞 上原和彦



銀賞 和田美由紀



銀賞 宮崎和一

入選



和田宣明



國本忠史



長野雄一



河崎朋子



江木一雄



江木結子



高良しおり



林 年数



江木加代子



吉岡恭兵



山平智也



因幡信一



池田翔太

バッジの部



金賞 井上宏子



高藤元太郎



高藤春紀



因幡信一



加藤葉子



吉浦隆市



高良しおり



座木恵子



秋永孝博



上原和彦



森田将之



森本要一



丹羽義忠



長野雄一



豊島和司



林 年数



國本忠史



萬田恵一



宮崎和一



古賀忠司

2013/7/1~7

全国安全週間作品結果

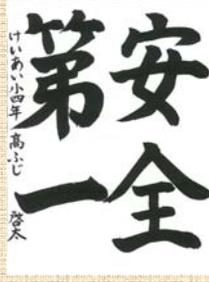
習字の部

小学校低学年の部



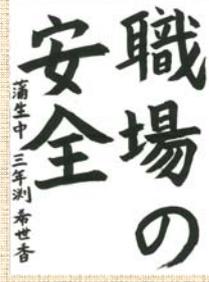
天賞 和田のどか

小学校高学年の部

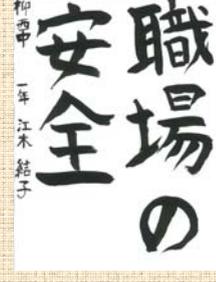


天賞 高藤啓太

中学校の部

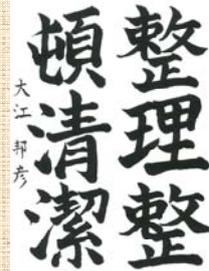


天賞 瀧希世香

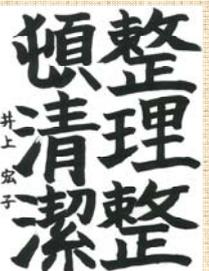


地賞 江木結子

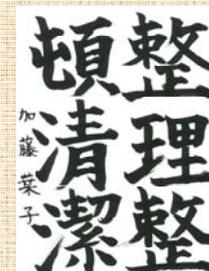
一般の部



天賞 大江邦彦



地賞 井上宏子

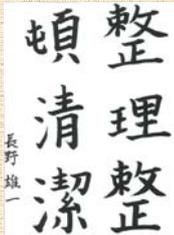


人賞 加藤葉子

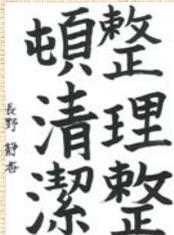


人賞 國本忠史

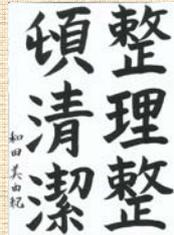
入選



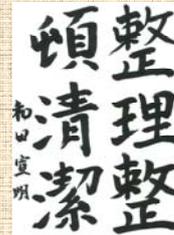
長野雄一



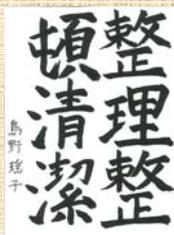
長野静香



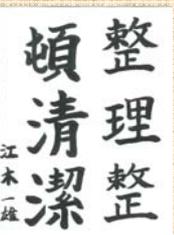
和田美由紀



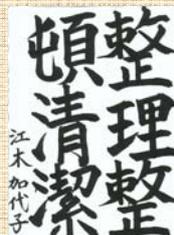
和田宣明



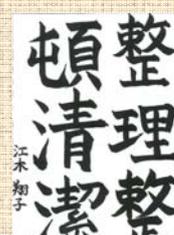
島野瑠子



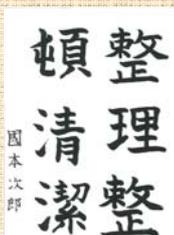
江木一雄



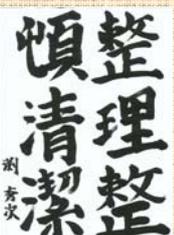
江木加代子



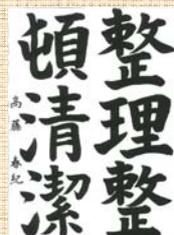
江木翔子



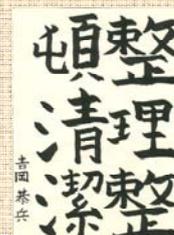
國本次郎



瀧 秀次



高藤春紀



吉岡恭兵

体験入隊で気づいた事は、社会人としての責任と目標を持つことでした。

いかに今まで時間を無駄にしてきたことを痛感させられました。

そして時間を守ることがとても大切であることを改めて学びました。中距離走では仲間の応援のお陰で、実力以上のものが発揮でき、廻りの人の応援はとても心強く、自分も応援する素晴らしさを知りました。

この体験を生かして早く人間的に成長していきたいと思いました。

【建設部 池田祥太】

運動不足を痛感させられた体験でしたが、団体生活では集団行動の重要性を身を持って体験出来ました。中でも自衛官の機敏かつ正確な動きは、自分にとってとても印象的でした。また何事も最後まで全力でやり遂げれば必ず良い結果が出ると信じ、仕事と資格取得を両立させて頑張っていきたいと思えます。

【建設部 林秀汰】

基本教練では、直立不動の姿勢、行進の仕方そして、時間厳守、整理整頓の必要性を教わり、とても勉強になりました。本当にありがとうございました今後の生活に是非活かしていきたいと思っています。また登山走では、人間必死になれば何事も乗り越えられることが分かりました。早く一人前の社会人になれるように、そして後輩指導が出来るように頑張っていきたいと思えます。

【建設部 吉岡恭兵】

不安を抱えての体験でしたが、2日目になると徐々に呼吸が合い、達成感を感じる事ができました。担当官の熱心な指導にとっても感謝しています。

特に時間を守って行動することの大切さを改めて教わりました。

今後は、この体験で学んだことを活かし、特に時間とルールはしっかり守っていきたいと思っています。

【事務センター 島野瑤子】

自分が苦手な登山走では、班のメンバーに後押しされて完走出来た事がとても印象的で、仲間の一言が大きな励みになりました。私はこの体験で、団体行動の重要性、時間厳守、身の回りの整理整頓を学ばせていただき、本当にありがとうございました。この体験で学んだことを忘れずに一刻も早く会社の役に立てるような大人になり社会に貢献していきたいと思えます。

【大阪支店 神野翔】

高校までスポーツをしていましたが、大学の4年間でなまっけてしまい、この体験は非常に辛く感じました。しかし参加した他社の方々と規律訓練、中距離走をお互いに協力し合って最後まであきらめずに達成、完走できました。この経験を、今後の生活に大いに活かしていきたいと思いました。そして一日も早く自分が会社に利益をもたらす必要な人間になれるように頑張りたいと思っています。

【福岡支店 原秀平】



日本の神社には白木造りと朱塗り造りがあるのはなぜ？

2013年は出雲大社と伊勢神宮がそろって遷宮を迎える記念すべき年です。

20年ごとに式年遷宮(遷宮祭:10/2、10/5)を繰り返す伊勢神宮とちがいで、出雲大社の遷宮は随破遷宮(遷宮祭:5/12~6/9)といって損傷が進んだ時に行くため、だいたい60年~72年に一度というきわめて流動的なもの。今回を逃せばもう二度と見られないかもしれない、私たちにとっては一生に一度だけの特別な機会かもしれません。

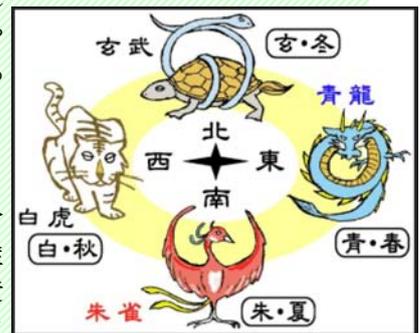
ところで、遷宮とはなにか?これは以前2011年の「藤友377号」で触れたと思います。少し復習しましょう。日本古来から神様が住む建物は常に清々しくあることが理想という神道の精神にのっとり建物の建て替えが行われることです。

さて、今回の「けんちく耳より話」はその遷宮を取り上げるのではなく、日本の神社には出雲大社や伊勢神宮のような白木(素木)で建てられたもの、平安神宮や宇佐神宮(大分)や厳島神社(広島)などのように朱塗りで造られた神社があります。なぜ神社には白木と朱塗りの神殿があるのでしょうか?今回は神殿の色に着目してみました。

白木(素木)とは樹皮をはいだ木材のことです。塗料は何も塗らず、素のまま建築材などを用います。神明造や大社造など日本の古い神社建築は、ほとんどが白木で造られています。白く清らかな白木が、神の依代(よりしろ)「神がよりつくもの、場所」となるのにふさわしいと考えられたため、人々は、神社を白木造りとすることで神を宿らせました。もともと生き物であった樹木を白木で用いてこそ神が宿ると信じられたためです。神社では、社殿のみならず、祭事に用いる神具、神棚や神籬(ひもろぎ)「臨時に神を迎える依代」にいたるまで、白木が用いられます。

ところで平安神宮は、なぜあんなふうに真っ赤っかなのか、不思議に思ったことはありませんか?宇佐神宮(大分)や厳島神社(広島)など、神社にはいわゆる「朱塗りのやしろ」というものもあるのだと知りましたが、ちょっと意外でした。出雲大社や伊勢の神宮に代表されるように、神社は「白木造り」だと思っていたからです。でも、実は「朱塗り」の出所は風水なのです。

平安神宮のような建築を、古い言葉で「丹楹粉壁(たんえいふんぺき)」と形容します。これは「赤い柱に、白い壁、蒼い瓦」を意味するもので、「黒檀の玉座」と合わせて風水の四神相応を体現しています。白木造りを多用してきた神社も、奈良時代から平安時代に入ると、しだいに漆が塗られるようになりました。春日造り、流造り、八幡造り、入母屋造り、権現造りなど、仏教の影響を受けた建築様式に、朱塗り漆に朱の顔料を混ぜたもの)の傾向が強く見られ、宮殿や大社大寺の多くが、この思想で造られました。あでやかな丹楹粉壁の神宮に対して、出雲大社と伊勢神宮は檜皮(ひわだ)葺きの格調高い白木造りです。



四神相応

もうお分かりかもしれませんが、大陸渡来の風水建築は「塗装文化」で、わが国発祥の和風建築は「白木文化」なのです。その理由は、まず材木の違いがあります。大陸は(欧米も)広葉樹が建築資材なので、表面のざらつきをカバーするために塗料を塗ります。しかし日本は針葉樹なので、その必要がありません。

また、風土の違いも大きな要素です。大陸では湿度対策は不要ですが、京都・奈良の盆地気候は何よりもそれが最優先になります。漆は防腐剤の役目もあるため、白木造りよりも耐久性に優れました。おそらく、平安時代は空調設備もなかったので、気候風土に合わせるができずに諦めたということでしょう。

「古い神社は白木造り、新しい神社または人霊をお祭りしてある神社は朱塗り。仏教の影響を受けたもののように。」

※参考文献:PHP研究所「神社・寺院・茶室・民家 違いがわかる日本の建築 より 戸矢 學 コラム「風水で快適生活」より



伊勢神宮

出雲大社



平安神宮

厳島神社



編集後記

初夏の山間を歩くと時々、田植えが終わったばかりの棚田が広がる風景に行きあう事があります。そんな景色にふっと「日本らしさ」を感じます。

百選に選ばれる棚田はないのですが北九州市にも棚田があります。表紙の写真は小倉南区の貫山の麓に広がる棚田です。

市街地から貫山へ向かって行くと左手に棚田が見えてきます。棚田の枚数は多くないのですが見上げれば貫山、見下ろせば周防灘と田植えが終わったばかりの棚田がマッチしてなかなか見ごたえがある景色です。

このような自然を眺めると、「大切なのは自然との共存」だなと感じます。日本各地で聞かれる「災害」の知らせを聞くたびに暮らし向きが変わりその風土との共存出来なくなってしまった今の日本をなんだか切なく思うのは私だけでしょうか？

発行

高藤建設株式会社 高藤 元太郎

北九州市門司区東新町1-1-30

TEL093-381-0461 FAX093-381-0543

<http://takafuji.co.jp>



高藤建設株式会社